春寒の候、校友の皆さんには益々ご健勝のことと拝察いたします。

さて私は、子供の頃から『賞状』とあまり縁がなかったのですが、今年は正月早々、下記のような立派な感謝状を頂き恐縮しています。（ちなみに社団法人全国工業校長協会は全国の工業高等学校六百十五校の校長と生徒約三十万人の大組織で、今回のような企業・個人の表彰は殆ど皆無とのことです。）

「あんたが何故？」と思われるかもしれませんが、私は旧制から新制高校まで六年間工業学校で機械を学び、その後コペルニクス的転換で、大学は文学部で新聞学を専攻し、マスコミ人として七十八歳まで過ぎてきました。

その間、名古屋テレビを経て、五十五歳で自分の会社を立ち上げ二十三年になりますが、その後、約二十年工業教育の発展に、自分のせめてもの恩返しのつもりで、ささやかなご協力をしてきたのがきっかけで、今回の感謝状授与につながったものです。

末筆ですが、時節柄、校友の皆さんのご健勝を祈ります。

平成二十三年二月吉日

同志社校友会　愛知支部参与
株式会社ＮＢＮコミュニケーションズ　代表取締役社長
鈴木實雄

感謝状

株式会社 NBNコミュニケーションズ
代表取締役社長 鈴木實雄殿

貴殿は多年にわたり社団法人全国工業高等学校長協会の工業教育活動に深く係わり尽力されました特に工業高校生の英語力の向上においては多大なる貢献をされましたよってここにその功績をたたえ深く感謝の意を表します

平成二十三年一月七日

社団法人全国工業高等学校長協会
理事長 巽 公一